

■『第114回医師国家試験問題解説』（解説）

(2022/12/01)

Page	国試番号	項目	誤	正	訂正日
4	114A3	解説c	大人用の血算検査を行うために使用する容器である。	採血管内に凝固促進用のフィルムと血清分離剤とみられるものが入っている。大人の生化学検査を行うために使用する容器である。	2020/11/11
4	114A3	基本事項	●採血管の蓋の色は一般的に生化学検査が茶色、血算（血球数・血液像）検査が紫色、凝固機能検査が黒色である。	削除	2020/11/11
17	114A13	臨床的意義	尿細管間質性腎炎では糸球体が保たれているため蛋白尿が出ないことを復習しておいて欲しい。	尿細管間質性腎炎では糸球体が保たれているため糸球体性蛋白尿が出ないことを復習しておいて欲しい（ただし尿細管性蛋白尿は出る）。	2022/1/21
22	114A16	解説b	…感覚障害が小指・示指にみられる。	…感覚障害が小指・環指の一部にみられる。	2020/11/18
35	114A22	コメント	男女両方：24%、男女両方：24%、とある。	男女両方：24%とある。	2022/1/5
97	114A51	解説（KEYWORD）	④体温36.8℃、脈拍88/分、整、血圧146/80mmHg、呼吸数24/分、SpO2 97%(room air)(→軽度の血圧上昇と頻呼吸を認めるがバイタルサインほぼ安定)	④体温36.8℃、脈拍88/分、整、血圧146/80mmHg、呼吸数24/分(→軽度の血圧上昇と頻呼吸を認めるがバイタルサインほぼ安定) ※ただしSpO2値は正確な数値とは言い切れない(一酸化炭素中毒の場合)	
100	114A52	VOICE	神経芽腫は低年齢ほど予後良好、ALLは低年齢ほど予後不良と対比させて覚えてました。	(削除)	2022/6/29
107	114A55	コメント	※110D4の類似問題	—	2020/07/17
177	114B24	解説c	肺炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患などでは出現しない	基本的に肺炎、喘息などでは出現せず、また、慢性閉塞性肺疾患ではまれである	2020/09/09
186	114B29	解説b	視交叉に病変がある場合、左眼の光刺激は対光反射中枢に伝わらないので、右眼の縮瞳はないはずである。	視交叉に病変がある場合、左眼の光刺激は対光反射中枢に伝わらないので、両眼の縮瞳はないはずである。	2022/12/01
214	114B45	KEYWORD	④(→白血球核の左方移動、発熱24時間以内のCPRの上昇を認め…)	④(→白血球核の左方移動、発熱24時間以内のCRPの上昇を認め…)	
229	114C7	解説e	実際は介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士などの国家資格を有する者が	実際は、社会福祉士、精神保健福祉士などの国家資格を有する者が	2020/11/12
250	114C23	臨床的意義	特に、眼球（水晶体）の被曝量に関しては海外では許容量が大幅に下方修正され従来より厳しくなっているが、日本の基準は古いままである。	日本の基準も令和2年（2020年）4月1日より改正されている。	
260	114C33	選択肢解説	○d 地域における健康危機管理保健所の業務の一つである（補足事項参照）。	○d 地域における健康危機管理保健所の業務の一つである（基本事項参照）。	2022/09/09
295	114C55	選択肢b	胃瘻造設術	腎瘻造設術	2020/08/26
296	114C55	選択肢b解説	経口摂取が困難な症例に対して行う処置である。神経…	上部尿路の閉塞や狭窄による水腎症の治療で、尿管ステント留置が困難な場合に行う。神経……	2020/08/26
323	114C72	コメント	[C074] 通所リハビリテーション（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	2022/11/29
333	114D6	解説d	グラム陰性球菌	グラム陰性桿菌	2020/06/11
353	114D21	KEYWORD	①両下肢浮腫、随時尿蛋白/Cr比4.6g/gCr、血中アルブミン3.1g/dL(→ネフローゼ症候群)	①両下肢浮腫、随時尿蛋白/Cr比4.6g/gCr、血中アルブミン3.1g/dL(→ネフローゼ症候群の診断基準をほぼ満たす)	
365	114D27	解説a	直腸脱は肛門から脱出する腫瘍であり、排便痛など排便症状を伴う。	直腸脱は肛門から脱出する腫瘍であり、疼痛きたすことは少ない。	2022/08/04
373	114D32	KEYWORD	②赤血球190万、Hb 6.6g/dL、Ht 19%、網赤血球0.7% (→MCV 95.5fLの正球性貧血、網赤血球数1.33万/μLと低下)	②赤血球190万、Hb 6.6g/dL、Ht 19%、網赤血球0.7% (→MCV 100fLの正球性貧血、網赤血球数1.33万/μLと低下)	
400	114D43	補足事項	乏突起膠腫×造影CT・MRI「均一に増強」 聴神経腫瘍×造影CT・MRI「均一に増強」	「不均一に増強」 「不均一に増強」	2020/10/16
417	114D53	TO NEXT	加速型-悪性腎硬化症は拡張期血圧が	加速型-悪性腎硬化症は拡張期血圧が	2021/08/16
420	114D55	補足事項	(13 trisomy) 重度の脳奇形、小頭症、頭部皮膚欠損などを呈する。約半数が生後1ヵ月以内に、9割以上が1歳までに死亡する。 (18 trisomy) 在胎時に羊水過多を呈することが多く、死産児であることも少なくない。予後は13trisomyよりもさらに悪く、1歳を超えるケースは非常に稀である。	(13 trisomy) 重度の脳奇形、小頭症、頭部皮膚欠損などを呈する。予後は18trisomyよりもさらに悪く、ほとんどが1ヶ月以内に、9割以上が1歳までに死亡する。 (18 trisomy) 在胎時に羊水過多を呈することが多く、死産児であることも少なくない。約半数が生後1ヵ月以内に、9割以上が1歳までに死亡する。	2021/05/10
423	114D56	補足事項（COPDと喘息の比較の表）	細胞 CD8+T細胞 (Th1) CD4+T細胞 (Th2)	細胞 CD8+T細胞 CD4+T細胞	2021/08/31
454	114D73	解説d	写真Aの縦隔条件	写真Aの肺野条件	2021/10/18
502	114E36	画像診断画像C	縦隔リンパ節腫脹	縦隔リンパ節腫脹	2020/12/10
510	114E40	補足事項	■ショックの分類 処置>アナフィラキシーショック アドレナリン皮下注射	■ショックの分類 処置>アナフィラキシーショック アドレナリン筋肉注射	2021/02/02
534	114F7	基本事項	抗トポイソメラーゼI抗体	抗トポイソメラーゼII抗体	2021/08/12
539	114F11	画像診断⑤	経静脈孔から	頸静脈孔から	2021/10/15
547	114F19	解法の要点	2018年のWHOのファクトシート	2018年に公表された2016年のWHOのファクトシート	2020/09/08

577	114F39	主要所見	クレゾールによる化学熱傷	化学熱傷	2022/1/25
577	114F39	解法の要点	クレゾールは強アルカリであるため、皮膚に付着した場合には初期対応として直ちに大量の水で除染を行う必要がある。本問では広範囲かつ4時間の付着を伴う化学熱傷を起こしており、熱傷深度の大きさと皮膚からの吸収を考慮しなければならない。熱傷の範囲、および深達度の評価が必要であり、熱傷に準じた治療を行わなければならないことや皮膚からの吸収の影響を考えて、三次医療機関への転院が必要となる。	クレゾールは弱酸性であるが腐食性があるため、皮膚に付着した場合には初期対応として直ちに大量の水で除染を行う必要がある。	2022/1/25
577	114F39	基本事項	●クレゾールはフェノールにメチル基を結合させた芳香族酸化物で、水酸化カリウム、せっけん液と混和したものである。タンパク質凝固作用による細胞毒性や強アルカリによる腐食性がある。経口、経皮により吸収され、経皮吸収された場合曝露部位に発赤、痛み、熱傷を生じる。 ●アルカリや酸、有機溶剤などが皮膚や粘膜へ付着して起こる腐食現象を化学熱傷と呼び、治療は熱傷に準じる。本問で問われているクレゾールについてはアルカリ性で、接触部位と化学変化を起こし、組織壊死をきたすが、その反応は早く、接触時間が長いほど障害は強い。	●クレゾールはトルエンのベンゼン環上の水素のひとつがヒドロキシ基に置換された芳香族化合物で、細胞毒性や強腐食性がある。 ●本問で問われているクレゾールは、接触部位と化学変化を起こし、組織壊死をきたすが、その反応は早く、接触時間が長いほど障害は強い。	2022/1/25
577	114F39	KEYWORD	①クレゾール (→強アルカリ)	①クレゾール (→弱酸性であるが腐食性がある)	2022/11/7
602	114F53	基本事項	新生児は生理的に多血で、赤血球寿命も短いため、ビリルビン産生量が多い。加えて肝機能も未熟で腸肝循環も亢進しているため、尿や便へのビリルビンの排泄量が少ない。そのため新生児は生後2週程度、生理的黄疸を呈するが、下記に示すような場合には、病的黄疸と判断する。	新生児は生理的に多血で、赤血球寿命も短いため、ビリルビン産生量が多い。加えて肝機能も未熟で腸肝循環も亢進しているため、尿や便へのビリルビンの排泄量が少ない。そのため新生児は生後2週程度、生理的黄疸を呈するが、早く出現する黄疸(24時間以内)、上昇するスピードが早い黄疸、程度が強い黄疸(特に直接ビリルビンが高い場合)、遷延する黄疸、は病的黄疸の可能性があるので注意する。	2021/01/15
607	114F56	問題文	HTLV-1抗体 (PA) 基準値 陽性	HTLV-1抗体 (PA) 基準値 陰性	
621	114F66	基本事項	Pneumocystic jirovecii	pneumocystis jirovecii	2021/08/12
付録	-	解説書答案用紙	F29 c, d	F29 b, d	